

第七十五回帝國議會 衆議院

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件

委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十五年二月十二日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 紫安新九郎君
理事宇賀 四郎君 理事矢野庄太郎君
理事鶴 惣市君 林 平馬君
駒井 重次君 川副 隆君
內藤 守正君 横川 重次君
八角 三郎君 春名 成章君
小野 廉君 高島龜太郎君
小野 謙一君 田中 源君
出席政府委員左ノ如シ

- 大藏參與官 松田 正一君
大藏省理財局長 相田 岩夫君
大藏書記官 前田 克巳君
海軍主計中將 武井 大助君
保險院長官 進藤 誠一君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件(政府提出))

職員健康保險特別會計法案(政府提出)
作業會計法中改正法律案(政府提出)

造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件ヲ議題ト致シマス

○松田政府委員 當委員會ニ於テ付託ニ相成ツテ居リマスル六法律案ノ内、先ヅ昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ト

致シマシテハ、現行ノ震災善後公債法及ビ道路公債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲ノ公債ノ發行ヲ要

シマスルノデ、其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要

ガアルノデアリマス、即チ昭和十五年度一般會計ノ歳出總額ハ、今回提出致シマシタル追加第一號豫算分ヲ加ヘテ、五十八億八千六十餘萬圓ニ對シ、普通歳入四十億七千七百四十餘萬圓竝ニ前年度剩餘金七千五百萬圓ヲ充當シテ、尙ホ不足スル十七億二千八百十餘萬圓ハ之ヲ公債財源ニ依ルノ必要

ガアルノデアリマシテ、此ノ内現行ノ公債法ニ依リ調達ナシ得マスル震災善後公債分二百五十餘萬圓及ビ道路公債分千三百六十餘萬圓ヲ差引キ、十七億二千二百餘萬圓ヲ調達スルガ爲ニハ、歳入補填公債十七億二千二百萬圓ヲ起債スルノ必要ガアルノデアリマス、

次ニ從來ノ例ニ依レバ、昭和十五年度ニ於キマシテモ、歳出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サルル結果ニナルデアラウト存ゼラレマス、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタル總豫算案ト、今回提出致シ

マシタル追加豫算第一號分トニ伴フモノデアリマスカラ、御手許ニ配付シテアリマスル法律案ト、是方修正書トヲ御参照願ヒタイト存ジマス

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、第七十一回、第七十二回、第七十三回及ビ第七十四回ノ各帝國議會ノ協贊ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費四十四億六千萬圓ヲ追加計上ヲ必要ト致シマスル所、其ノ所要財源中七億八千六百十餘萬圓ニ付キマシテハ、一般會計及ビ各特別會計ヨリ繰入金、軍事費獻納金等ヲ以テ充當シ、三十六億七千三百八十餘萬圓ニ付キマシテハ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲、昭和十二年法律第八十四號中ノ公債發行限度ヲ増額スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタル追加デアリマス

付託議案

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一號)
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第二號)
職員健康保險特別會計法案(政府提出)(第三號)
作業會計法中改正法律案(政府提出)(第四號)
造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出)(第五號)
昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)(第六號)

次ニ職員健康保險特別會計法案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、昨昭和十四年四月公布セラレマシタル職員健康保險法ノ規定ニ依リマスレバ、政府及ビ職員健康保險組合ガ職員健康保險ノ保險者ト相成リ居リ、政府ハ職員健康保險組合ノ組合員ニアラザル被保險者ノ保險ヲ管掌スルコトナルノデアリマスガ、本事業ノ經營ニ關スル政府ノ歳入歳出ハ、他ノ政府ノ經營スル保險事業ノ場合ニ於ケルト同様之ヲ一般會計ト區分經理スルノヲ適當ト認メマシテ、特別會計設置ニ關スル本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

次ニ作業會計法中改正法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、海軍燃料廠ノ据置運轉資本ハ、現行作業會計法第二條ノ規定ニ依リマスレバ二百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、同廠ニ於ケル事業量ハ近年著シク増大シテ參リマシタノデ、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上多大ノ困難ヲ來シテ居リマスルノミナラズ、同廠諸設備ノ整備擴充モ漸次實現ノ途上ニ在リマスル關係上、右困難ノ程度ハ益々増加セントスルノ傾向ヲ示シテ居リマスルノデ、此ノ際前述ノ法定額ヲ六百萬圓ニ増額シ、其ノ不足額ハ事業ノ狀況ニ應ジ財政ノ許容スル所ニ從ヒマシテ、漸次一般會計ヨリ之ヲ繰入ルルコトトスルノ必要ヲ認メ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

シタノデ、是ガ製造能力ノ増大ヲ圖ル爲、昭和十五年度及ビ昭和十六年度ニ互ル繼續費三百萬圓ヲ以テ、同局東京出張所ニ貨幣製造工場其ノ他ヲ新營擴張スルコトト致シマシタノデアリマスルガ、是ガ諸設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ充用スル爲、造幣局資金ノ内三百萬圓ヲ昭和十五年度及ビ昭和十六年度ニ互リ、一般會計ニ繰入ルル等ノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

最後ニ昭和十三年法律第五十三號中改正法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、印刷局ノ据置運轉資本ハ現行ノ作業會計法第二條ノ規定ニ依ル百萬圓ト、昭和十三年法律第五十三號ニ依ル据置運轉資本ノ一時補足金四百萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、印刷局ニ於ケル事業量ハ近年著シク増大シマシタル關係上、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上時ニ困難ヲ伴ヒマスルノデ、此ノ際前述ノ昭和十三年法律第五十三號ニ規定スル借入金ノ法定額ヲ七百萬圓ニ増額致シマシテ、据置運轉資本ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ、一時補足シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスル爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

以上御説明申上ゲマシタ各法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上御贊成アラントヲ希望スル次第デアリマス

○宇賀委員 私ハ此ノ際赤字公債ノ法案ノ審議ヲ進メルニ付キマシテ、參考資料ヲ請求シタイト思ヒマスルガ、豫算委員會デ是ト殆ド同ジヤウナ方向ニ審議ヲ進メラレテ居ル際、豫算委員會其ノモノカラ多クノ必要

ナル資料ノ請求ヲシテ居リマスルガ、重複ヲ避ケル爲ニ、成ルベク赤字公債ニ必要ナル所ノ參考書ヲ、此ノ豫算委員會デ請求シタモノノ中ニ關係アリト大藏省デ御認メナサルモノヲ、殘ラズ一ツコナラニ出シテ戴キタイト思ヒマス、極ク概括的ナ御要求ヲ申シテ置キマス、但シ尙ホ此ノ以外ニ必要ガアレバ、必要ニ應ジテ或ハ請求致スコトト致シタイト思ヒマス

○紫安委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス  
午前十一時散會